

## 淳ちゃんの巻頭エッセイ



## 『やれることを見つけよう』

一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会 会長 平藤 淳

パラリンピックイヤーの今年も、様々な事業を皆さまのご協力のもとに行ってきました。県内では、障がいのあるなし、性別、年齢などに関わらず、多くのスポーツ愛好者が一緒にスポーツをする姿が見られました。また、世界に目を向ければ、陸上競技の小野寺萌恵さん（北海道・東北パラ陸協、紫波町）が、神戸パラ陸上世界選手権で100m 3位、パリ2024パラリンピックでは100mと800mの2種目6位入賞の実績を残しました。さらに、デフ陸上競技や車いすハンドボール、クライミング、バドミントンなどの国際競技会で岩手在住・出身のパラスリートが活躍し、うれしく、そして頼もしく感じています。

また、パリパラリンピックには、障がいのないアスリートが2人、視覚障がいのアスリートとともに出場しています。1人は、自転車競技のパイロットとして2人乗り自転車（タンデム）のかじを取るポジションで出場した三浦生誠さん（日本競輪選手養成所、岩手町出身）、もう1人は、トライアスロンのガイドランナーとして、水泳とランニングではガイドロープで体をつなぎ、自転車ではタンデムとともに乗って競技した、寺澤光介さん（サニーフィッシュ、大船渡市出身）です。これも、岩手の誇りです。

平熱という人が著書（『むづかしい毎日に、むづかしい話をしよう』、東洋館出版社、2024）で、人の捉え方を「カップラーメンづくり」を例に説明しています。「カップラーメンを作れない人」を観察すると、その人はすべての工程ができないのではなく、単に「お湯が沸かせない人」だったりするということです。

ところが、私は、パラリンピックに障がいのない人が出場することは考えませんでしたし、県内の大会でも、目の見えない人が得点係をしたり、車いすユーザーが審判を務めたりしている姿を見て驚いた、つまり、パラスポーツイベントでは障がいのある人がプレーをし、障がいのない人が運営をするものなどと、それぞれの役割を固定的に、そして「やれること」を考えない大きすぎる捉え方で見ていることに気づきました。これではいけません。

障がいのあるなしに関わらず、やりたい時に自宅の近くでスポーツができる環境を整えることを、当協会を目指しています。固定的な見方にとらわれず、プレーヤーが運営者になったり、地域の人が主たる運営を行ったりと、自分の「やれること」を高め、発見してゆくことが地域のスポーツ環境を向上させることにつながると考えています。

可能性は無限大です。やれることを見つける人、やれることを高める人、やれることを広げる人であり続けましょう。

## CONTENTS



### ■特集記事

P1 / **新** 淳ちゃんの巻頭エッセイ（当協会 平藤 淳 会長）

P2 / 障がい者スキー交流会 2024

### ■事業報告（R5後期：10月～3月）

P4 / グラウンドゴルフ釜石鶴住居交流大会 他

P5 / パラテニス体験会 2023・第4回卓球バレー指導者講習 他

P6 / 燃ゆる感動がごしま大会・岩手県ボッチャ交流大会 2023 他

P7 / 第3回さんてつカップ・第4回大船渡さんまカップ 他

P8 / 令和5年度障がい者スポーツ特別研修会 他

P9 / 2024 パラスノースポーツ体験会・陸上練習会 他

P10 / 陸上練習&パラスポーツ体験・たかたサントリーカップ 他

P11 / ゲートボール交流会・パラアーチェリー記録会・会員紹介 他

## ホームページについて

開催要項、申込書データのダウンロードや詳細情報は当協会のホームページよりご覧ください。

URL → <https://www.iwate-adaptive.or.jp/>



お問合せ先：一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会  
岩手県障がい者スポーツ指導者協議会  
岩手県卓球バレー協会  
岩手県ボッチャ協会  
TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626  
E-mail : info@iwate-adaptive.or.jp

# 障がい者スキー交流会2024を開催！

令和6年3月2日(土)～3日(日) @ 安比高原スキー場



## 障がい者スキーの取組み

本事業は、長年に渡り、岩手県身体障害者福祉協会をはじめとする障がい者団体や岩手チェアスキークラブ等の障がい者スキー関係団体との連携により開催してまいりました。当初は参加を希望する脊髄損傷者や下肢切断者等、数名での体験会からスタートしました。その際には東北チェアスキークラブ（宮城県）やご家族の他、多くの医療リハ系の職員等にボランティアとして参加いただいております。近年は視覚障がいや知的・発達障がいなど様々な障がい種別の参加が増え、総勢100名を超える大イベントとなっています。また、イベント規模の拡大とともに毎年、10名以上の日本プロスキー教師協会（以下、SIA）所属の障がい者スキー認定教師の皆さんにご協力いただいております。

2017年には当協会（岩手県障がい者スポーツ協会）を設立して、障がい者スポーツの推進団体として本事業を主催しています。本事業の目的は障がいのある方々がスキーを楽しむための環境づくりとともに、本事業に賛同する多くの団体とのネットワーク構築による障がい者スポーツ全体へのアプローチにあると考えています。多くの目により、課題や発見、改善点など共有し、構築・拡大していくネットワークを活用しながら本県の障がい者スポーツ全体の環境整備につながっています。それだけにとっても価値のある事業であり、今後も継続して開催してまいりたいと考えております。



## 継続開催の危機

毎年の悩みが予算の確保です。これまで県事業費や企業からの寄付金・協賛金等を活用して運用していました。障がいのある方へのスキー指導は安全面に配慮してマンツーマンを基本としています。指導にあたる SIA 所属の障がい者スキー認定教師は本県に2名しかおりませんので、その他、北海道・長野・新潟などからおおよそ20名の認定教師に足を運んでいただいています。これにボランティアや使用機材等を含めると300万円ほどの経費が必要となります。しかしながら今回は事業に充てられる予算がない状況でした。そのため、前年度から資金調達の方法を画策しておりましたが、本事業に合う助成金等も見つからない状況でした。



▲①②③、各々の障がい特性に応じて安全にスキーを楽しむためには様々な専用機材の他、インストラクター、ボランティアの力が重要となる。

## クラウドファンディングの実施

そこで最後の手段としてクラウドファンディング実施に至りました。初めての試みなので手探りの状態でしたが、様々な立場の方々からご助言をいただきながら、300万円を目標として令和5年11月21日から70日間のプロジェクトとしてスタートすることができました。また、事業の内容は、公益性が高いと判断されたため、「オール イン」方式（目標金額の達成に関わらず集まった金額が寄付されます）となったことも開催に向けて明るい希望となりました。とはいえ当初はなかなか支援金が集まらず、厳しい時期もありましたが、最終的には169名の方々から2,310,555円の支援金をいただき、何とか事業をつなぐことができました。あらためて、ご支援をいただいた皆様に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## 障がい者スキー交流会2024

2024年3月2日（土）～3日（日）の2日間に渡り、安比高原スキー場を会場に開催いたしました。今シーズンは雪不足により3月の開催日まで雪があるか心配される中、当日はなんと今シーズン一番の大雪となりました。猛吹雪により視界不良で参加者が会場までたどり着けるか心配されましたが、無事に初日を迎えました。参加者数は初日が88名（障がい当事者23名）、2日目が90名（障がい当事者23名）でのべ178名が参加。障がい当事者は10歳から65歳までのべ46名の方々にスキーを楽しんでいただきました。講師を務めた障がい者スキー認定教師は21名。各スキースクールの看板インストラクターや校長先生などそうそうたる顔ぶれが揃いました。初日終了後には今後についてミーティングを行いました。その中で様々な改善点の指摘を受けました。例えば障がい特性の事前把握やスキーレンタルを希望される方のレッスン時間の確保、チェアスキーの事前フィッティングなど。いずれも参加者がスキーを楽しむためには重要なことばかりでした。できるかぎり改善に努めてまいります。

## 今後に向けて

今回、インストラクターを含め参加者からの声をフィードバックしながら次につなげたいと思います。その前にまずは予算の確保が先決です。次回はクラウドファンディングを行わず、助成金申請を目指すこととしました。そのためには継続事業ではなく、新規性のある事業として申請する必要があります。これまでの参加体験型のイベントから参加者が体験するだけでなく、モデルスキーヤーとして主体的に参加する形へと変化させていきたいと思います。参加者の声を引き出し、障がい特性に応じた多様な体験プログラムに反映させ、見える化する形を考えています。このことにより、障がい特性に応じた体験導入のためのプログラムが全国各地のスキー現場で共有され、障がいのある方が気軽にスキーを楽しむことができる環境になることを期待しています。



▲①②③、障がいやスキーレベルに応じてグループ（ピブスで色分け）でレッスンを行う。④SIA障がい者スキー委員会の皆さん。北海道・長野・新潟などから21名の障がい者スキーインストラクターにご協力いただいた。元オリンピックの岩谷高峰さん（後列右端）もレギュラーメンバーなのだ！

## グラウンドゴルフ釜石鶴住居交流大会を開催しました！

◆期日：令和6年10月2日（水）  
 ◆会場：釜石鶴住居復興スタジアム（釜石市）  
 ◆レポート：今年度4回目となるグラウンドゴルフ交流大会です。会場はあの釜石鶴住居復興スタジアムです。2019年ラグビーワールドカップの会場ということで見学者を含めて約70名の参加となりました。いつものように赤・青の2コースの合計16ホールの合計打数により、一般男女・団体、オープン男女の各クラスで順位を競いました。天気はくもりペースでしたがプレーするにはちょうどよい気象状況でした。それぞれに素晴らしいスタジアムでのプレーを楽しんでおりました。結果は以下のとおりです。



☆男性部門・一般：第1位（41点）山崎 武／第2位（44点）沼里 基志／第3位（45点）小島 一二  
 ☆女性部門・一般：第1位（43点）菊池 次子／第2位（45点）柳澤 キエ／第3位（48点）富松 ハヤ  
 ☆団体部門：第1位（182点）いちのせきA／第2位（199点）盛北チーム／第3位（201点）花巻身障協  
 ☆男性部門・オープン：第1位（37点）刈谷 瑞明／第2位（39点）斉藤 光男／第3位（41点）菊池 義之  
 ☆女性部門・オープン：第1位（37点）川崎 寿子／第2位（46点）両川 キヨ／第3位（55点）山崎 千枝子

## 遠野ストリート陸上2023に参加しました！

◆期日：令和6年10月8日（日）◆会場：遠野市民センター（遠野市）  
 ◆レポート：「ストリート陸上」というだけに遠野市民センター前に設置した仮設の陸上レーンを使用したランニング教室がメインとなります。目的の1つには年齢や障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しめる環境づくりがあります。ゲストアスリートとして本県出身の石川周平選手と田中佑美選手、そして岩谷堂高校教員の義足アスリートの佐藤将太選手が招かれました。最初に、パラスポーツのトークショー&デモンストレーションを行いました。トークショーはゲストの佐藤将太選手とインタビュー形式で行いました。義足の着脱の実演やランニングの様子などなかなか直接見る機会はなく、貴重なシーンだったと思います。デモンストレーションでは両選手と地元小中高生とのハードル対決も行われ、大いに盛り上がりました。また、1日を通して市民センター内においてパラスポーツ用具の体験会も行われました。多くの市民の皆様が陸上の魅力やパラスポーツ普及について発信する機会となりました。貴重な機会をいただき、開催準備や当日運営等にご尽力いただいた遠野市関係者の皆様にあらためて感謝を申し上げます。



## スポーツフェスティバル2023(卓球バレー交流会)

◆期日：令和6年10月9日（月祝）  
 ◆会場：パラリーナ（盛岡市）  
 ◆レポート：本事業は県営体育・スポーツ施設の指定管理者である（公財）岩手県スポーツ振興事業団がスポーツの日に合わせて行う事業です。県内広域に渡るスポーツ施設においてそれぞれ体験種目を分けながら実施している規模の大きいイベントです。当協会は岩手県勤労身体障がい者体育館で実施した卓球バレーの体験イベントをサポートしました。参加者は初体験の方よりも、日頃から卓球バレーに取り組んでいる皆さんが多く、どちらかという和気あいあいとした練習会という雰囲気でした。卓球バレー審判にとってはとても良い練習機会となりました。



## パラテニス体験会 2023 を開催！

◆期日：令和6年10月9日（月祝）◆会場：盛岡市立太田テニスコート  
◆レポート：昨年に引き続き、株式会社MAYAホールディングス様からのご協賛をいただき開催しました。講師は仙台市よりカラフルズコーチの加藤和孝さんをお招きしました。県内の車いすテニス普及の歴史は古く、これまでに数名の選手を輩出していますが、近年は若手選手の育成が課題となっています。また岩手県テニス協会ではパラテニスアカデミーを継続開催するなど、競技団体と協働しながらパラテニスの環境づくりに取り組んでいます。

さて、今回は経験者や岩手大学の学生などを含め約15名が参加して車いすテニスを楽しみました。準備運動に続いて最初は車いすテニスに必要なチェアワークの練習から入りました。その後、ラケットは使わずにボールをバウンドさせたキャッチボールなど導入の際のプログラムはとても参考になりました。ラケットを持ってからもチェアワークの難度を下げてフォアハンド・バックハンド練習。そしてチェアワークを組合わせたショット練習等スモールステップで組み立てていきます。このようなプログラムは指導者にとっても参考になるところです。参加者も徐々に慣れてきて、最後はゲーム形式の練習を行い楽しんでおりました。



## 第4回卓球バレー指導者養成講習会

◆期日：令和5年10月14日（土）  
◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）  
◆レポート：今年度4回目となる指導者講習会には岩手大学の学生を含め、4名が受講しました。今回もアスレクトチームの選手の方々に講習をサポートいただきました。卓球バレーは障がいの有無に関わらず参加できるインクルーシブスポーツとして注目されるとともに選手が講習会や大会を支える側に回る場面も多く作ることができます。本県の卓球バレー普及の特徴でもあります。



岩手大学卓球部との連携事業として実施！



## 岩手県卓球バレー交流大会 2023 を開催！

◆令和5年10月15日（日）◆会場：ふれあいランド岩手・体育館（盛岡市）

本大会は2016年希望郷いわて大会での卓球バレー全国大会開催を記念して、2017年より開催している大会です。この大会には岩手リハビリテーション学院理学療法学科1年生（以下、岩リハチーム）の生徒約40名が4チームに分かれて参加しています。岩リハチームが参加するようになって4年目となりました。4年前に当協会が体育の授業を担当するようになったのがきっかけで、授業の最終章がこの大会への参加としております。学生たちは選手として、また試合のないときはボランティアとして参加しています。講義だけでは伝わらないインクルーシブな空間を実際に体験する貴重な機会となっており、学生にとっても大きな刺激を受けているようでした。

さて、今回はチャレンジクラスには岩リハ4チームを含む16チームが参加しました。秋田県チーム「さきほこれ」も久しぶりに参加していただきました。予選リーグは4チーム×4組でのリンク戦を行い、上位2チームが決勝トーナメントに進みます。残念ながら岩リハチームは1勝もできませんでしたが、選手兼ボランティアとして大活躍でした。

決勝トーナメントを制したのはアスレクトチームでした。今回も安定した試合運びでした。他のチームにもアスレクトチームの戦術は参考になっているようです。また、奥州市の友とびあチームが決勝トーナメント初戦で優勝候補の一角である宮古市身障福祉会をフルセットの激戦の末に破り、最終的には4位入賞となりました。こちらも大健闘でした。

# 応援ありがとうございました！ 燃ゆる感動 かがしま大会

特別全国障害者スポーツ大会 熱い鼓動 風は南から 2023

◆期日：令和5年10月26日（木）～31日（火）

◆会場：白波スタジアム 他（鹿児島県）

◆レポート：大会の愛称である燃ゆる感動かがしま大会（以下、かがしま大会）は2020年に第20回全国障害者スポーツ大会として開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、2023年に延期することになりました。2023年開催予定だった第23回大会は、翌年にスライド開催。大会回数はそのままするため、かがしま大会は特別大会として開催されることになりました。本県からは個人競技28名、団体競技（フットソフトボール・ソフトボール・バレーボール知的女子）38名の選手66名と役員41名の合計107名の選手団が派遣されました。

結果は、金メダル10個、銀メダル8個、銅メダル8個の合計26個のメダルを獲得することができました。選手・役員の皆様、大変お疲れさまでした。そして応援いただいた皆様ありがとうございました！



◆期日：令和5年11月5日（日）

◆会場：パラリーナ（盛岡市）

◆レポート：このポッチャ交流大会は昨年から始まりました。障がいの有無や年齢など制限がないため、どなたでも参加可能！競技は2エンドマッチで実施、今回は、14チームが出場し、4コートに分かれての予選リーグ。その後、各組上位2チームが決勝トーナメント行いました。



◆期日：令和5年11月5日（日）

◆会場：パラリーナ（盛岡市）

◆レポート：午前中のポッチャ交流大会に引き続き、午後は卓球バレーの交流大会（パラリーナ杯）を行いました。



◆期日：令和5年11月12日（日）

◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：本大会も回を重ねて8回目の開催となりました。今回は20名のプレイヤーが参加。予選リーグを勝ち抜いた8名が準決勝に進出。さらに準決勝を経て決勝は4名に絞られます。決勝の結果、優勝者は「daijii」さんとなりました。2位が「令くん」、3位が「平八の熊」さんでした。

## PT(理学療法士)のための中級パラスポーツ指導員養成講習会



◆期日：令和5年11月18日（土）、19日（日）、25日（土）、26日（日）

◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：理学療法士（以下、PT）を対象とした中級パラスポーツ指導員養成は2018年度からスタートして今回で6度目の開催です。例年、県外からの受講者が多く参加していましたが、今回は県内4名、県外1名の5名が受講しました。PTを含め作業療法士（以下、OT）等、医療関係者との連携はパラスポーツの振興には欠かせないと考えています。その理由の1つはリスクマネジメントの軽減です。そしてもう1つはPTやOTの皆さんの持つ知識・技術を活かして障がい特性に応じたプログラムを実施することにより参加者の満足度がアップします。これにより、「楽しい」「またやりたい」を多く引き出すことができます。さて、本講習会は通常のプログラムの半分の4日間であることや受講条件に初級資格の有無が問われず飛び級で中級を取得できます。是非、多くの皆さんに受講いただけるよう継続的に取り組んでいきたいと思ひます。

## 県内体育科・三校合同研修会

- ◆期日：令和5年11月21日（火）
- ◆会場：紫波町総合体育館（紫波町）
- ◆レポート：この研修会は県内高等学校の体育科等で学ぶ生徒を対象としたもので、盛岡南高等学校・花巻南高等学校・不来方高等学校の3つの学校から約240名が参加して行われた。午前はオリンピックである永井秀昭さん（現在は岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課）の講演会が行われた。午後は当協会の担当でパラスポーツ体験を実施しました。



## 第3回さんてつカップ

- ◆期日：令和5年11月23日（木祝）
- ◆会場：宮古市民総合体育館・シーアリーナ（宮古市）
- ◆レポート：宮古市での卓球バレー交流大会は2017年よりスタートしました。2019年から大会名をさんてつカップとして実施しました。コロナ過により2020年、2021年は大会開催を断念。昨年より再開しました。三陸沿線での卓球バレー大会は現在、久慈市のあまちゃんカップ、宮古市のさんてつカップ、大船渡市の大船渡さんまカップ、陸前高田市のたかたサントリーカップと4つの大会を開催しています。今後は釜石市での大会開催に向けて取組みたいと思います。さて、本大会には8チームが参加し、それぞれの競技レベルに応じて対戦しながら卓球バレーでの交流を楽しみました。



## 第4回大船渡さんまカップ

- ◆期日：令和5年12月2日（土） ◆会場：大船渡市民体育館（大船渡市）
- ◆レポート：大船渡さんまカップは2020年よりスタート。昨年からはボッチャ大会も同日開催として実施しています。今回は午前中の卓球バレー大会に8チーム、午後のボッチャ大会に7チームが参加してインクルーシブスポーツでの交流を通して、楽しく交流しました。地元の大船渡市スポーツ推進委員の皆さんにおいては、選手にスタッフにと大活躍いただいています。今回は地元の老人クラブ関係者の参加が少なかったのですが、今後も地域の皆さんと連携しながら、障がいのあるなしに関わらずスポーツを楽しめる場づくりを目指していききたいと思います。

## 【主催：日本卓球バレー連盟東ブロック】卓球バレー指導者スキルアップ講習

- ◆期日：令和5年12月17日（日）
- ◆会場：いずみ高等支援学校（宮城県）
- ◆レポート：本事業は日本卓球バレー連盟東ブロックが主催する連盟公認の指導者及び審判員の技術のスキルアップを目的とした研修会です。現在、東ブロックに所属する岩手・宮城・埼玉・茨城・栃木の5つの卓球バレー協会が設立されています。参加者は各県協会より22名が参加して行われました。今回の企画当番は岩手県卓球バレー協会でした。前半は卓球バレー導入時の指導方法として三浦事務局長、後半は審判技術講習会としてホールディングをテーマに菅野審判部長が実技指導を担当しました。



## 令和5年度障がい者スポーツ特別研修会

～『支える』から『共に創る』へ～

◆期日：令和5年12月24日（日）  
 ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）  
 ◆レポート：本研修会は2018年より実施しています。本研修会では多くの講師やゲストをお招きして講演やパネルディスカッションを実施し、当協会の取り組みの方向性にも大きな影響を与えています。さて、今回のテーマは「『支える』から『共に創る』」としました。障がい者スポーツ事業の多くは障がい当事者にとっては「与えられるもの」であり、その結果、当事者は支援される側になることが一般的です。これは当たり前のごとに感じる方も多いと思いますが、実はここに当事者の主体性を阻害する要因があるのではないかと考えます。当事者も事業の運営者も立場を分けることなく、共同運営を行うことにより、双方がより主体的になるのではないかと思います。今回は以下のゲストをお招きして基調講演、パネルディスカッションを実施しました。

- \*事例発表① テーマ：誰もが釣りを楽しめる環境づくり  
 講師：ユニバーサルフィッシング協会 林 隆之 氏
- \*事例発表② テーマ：インクルーシブを当たり前  
 講師：川崎水泳協会 理事長 細川 慶隆 氏
- \*事例発表③ テーマ：卓球バレーを楽しもう（支えるから共に創る・楽しむへ）  
 講師：茨城県卓球バレー協会 事務局長 向 仁子 氏
- \*基調講演 テーマ：地域においてインクルーシブなスポーツ機会を作るために  
 講師：一般社団法人コ・イノベーション研究所 代表理事 橋本 大佑 氏



## 【宮古地区初開催！】沿岸地区初級パラスポーツ指導員養成講習会

◆期日：令和6年1月6日（土）～8日（月）◆会場：宮古市民体育館（宮古市）  
 ◆レポート：本県の初級パラスポーツ指導員養成講習会は、令和2年度より沿岸地区と県央地区の年2回開催となりました。これは、障がいのある方々のスポーツ参加環境を整備するためには、指導者の存在がとても重要であると考えられる本県のスポーツ振興の特色でもあります。沿岸地区講習では令和2年度から4年度までは陸前高田市で開催しましたが、今年度は宮古市、来年度は久慈市というように沿岸部の北部・中部・南部の3つに分け持ち回りで開催することとしました。さて、初めての実施となる宮古市での講習会ですが受講者は5名となりました。受講者にとって3日連続の講習会は日程調整が難しいという声もあります。講習内容はとても充実しており、障がい特性に関することから現場で使えるプログラムなど障がいの有無に関わらず役に立つ内容となっています。特別支援学校や福祉関係者だけでなく、一般の学校の先生やスポーツ指導者にも受講していただきたいと思います。



## 中級パラスポーツ指導員養成講習会

◆前期日程：令和6年1月13日（土）、14日（日）、20日（土）、21日（日）  
 ◆後期日程：令和6年3月9日（土）、10日（日）、16日（土）、17日（日）  
 ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）  
 ◆レポート：毎年、県委託事業として中級パラスポーツ指導員養成講習会を開催している自治体は全国では岩手のみとなっています。よって本県の全指導者に対する中級取得者の割合は高いのが特徴です。また、東北各地からも受講者があるため、東北全体として中級取得者の割合が高いと言えます。さて、本講習会は8日間と超ハードスケジュールです。そのため受講者が殺到するわけではありません。今回は受講者6名、フォローアップ受講者2名の8名となりました。例年、受講者だけで10名程度ですので若干少な目でした。

さて、カリキュラムは実技を含め、57時間になります。実技は全国障害者スポーツ大会の実施種目が多いのが特徴です。個人的にはインクルーシブスポーツである卓球バレーやボッチャ（地域普及の工夫のため）が実技に入っても面白いと感じています。



## 2024 パラスノースポーツ体験会

- ◆期日：令和6年1月27日（土）
- ◆会場：安比高原スキー場（八幡平市）
- ◆レポート：本事業は日本障害者スキー連盟の主催事業で当協会が協力団体として関わることになりました。本県でも毎年、障がい者スキー交流会を実施しておりますが、どちらかというところ普及・体験を目的として実施してきました。最近の傾向としては競技中心に行っていた中央競技団体も育成発掘といった普及啓発的な取り組みが求められる傾向になっていきます。このことは私たちにとっても技術サポートやネットワークづくりにおいてメリットが大きいと考えています。今後も同連盟をはじめ中央競技団体と連携した事業に取り組んでいきたいと思っております。さて、今回のプログラムはアルペンスキーとスノーボードでした。それぞれの障がい特性や技能に合わせて指導いただき、参加者の満足度はとても高いものとなりました。



## 陸上練習会（令和5年度いわてパラアスリート発掘・育成事業）を開催！



- ◆期日：令和6年2月3日（土）
- ◆会場：富士大学スポーツセンター（花巻市）
- ◆レポート：本事業は令和5年度いわてパラアスリート発掘・育成事業のプログラムの1つです。競技研修として毎年、陸上・卓球については講師派遣をいただきながら冬季間のトレーニング行っています。講師には今年もカケッコーズ代表の阿部丈二さんをお招きしました。阿部さんの指導は言葉数よりも、身振り手振りやジェスチャーや擬音など視覚的にもとてもわかりやすく、オノマトペ的な効果があるように思います。おかげさまでとても充実した練習会となりました。

## 2024 視覚障害者クロスカントリースキー講習会 in 雫石

- ◆期日：令和6年2月11日（日）
- ◆会場：ケップレランド（雫石町）
- ◆レポート：本事業は、日本障害者スキー連盟が地域団体との連携により効果的な選手の育成・発掘を行うことを目的としています。当協会は地域団体として連携協力という形で関わっており、今回で4回目の実施となりました。協力内容は、イベントの周知とスタッフ派遣が主となります。今回、ご協力いただいたのは、岩手県作業療法士会より3名のスタッフ派遣に加えて、オリンピックである永井秀昭さん（岩手県職員）でした。特に永井さんの参加は心強く、岩手県スキー連盟様とのネットワーク構築にもつながっているように感じました。これまでの会場は田山クロスカントリーコースでしたが、今回初めて雫石町のケップレランドでの実施となりました。盛岡より30分ほどで移動できるのが魅力です。参加者は視覚障がいの方から肢体不自由者などこれまでで一番多く、指導者やスタッフも含めてにぎやかなイベントとなりました。



## 気仙地区卓球バレー指導者養成講習会を開催！

- ◆期日：令和6年2月17日（土）
- ◆会場：大船渡市民体育館（大船渡市）
- ◆レポート：本講習会は、日本卓球バレー連盟の公認指導者講習で気仙地区（大船渡市、陸前高田市、住田町）のスポーツ推進委員を対象に行いました。また、講習会の補助として大船渡市身体障害者協議会の皆さんにご協力いただきました。本講習会により新たに7名の指導者が誕生しております。気仙地区全域において卓球バレーが広がることを期待しています。



## 陸上練習会 & パラスポーツ体験会 (令和5年度いわてパラアスリート発掘・育成事業)

- ◆期日：令和6年2月17日(土)
- ◆会場：富士大学スポーツセンター(花巻市)
- ◆レポート：2月3日に続き「令和5年度いわてパラアスリート発掘・育成事業」における競技研修を行いました。参加者は、パリパラリンピックやデフリンピック東京大会出場を目指すトップアスリートを含む20名ほどでした。今回は、花巻・遠野地区の障がいのない選手も合同練習を行いました。また、学生の皆さんにはパラスポーツ体験も行い、相互理解を深める機会となりました。



## 卓球バレーたかたサントリーカップ2024



- ◆期日：令和6年2月25日(日) ◆会場：夢アリーナたかた(陸前高田市)
- ◆レポート：本大会は日本卓球バレー連盟東ブロック公認大会の「第3回エリアカップ岩手大会」を兼ねて行われました。参加は競技性の高いゆめちゃんクラスには3チーム。交流を目的の中心とする一本松クラスには13チームの合計16チームが参加して卓球バレーでの交流を楽しみました。地元の老人クラブからの参加が増えたことで大いに盛り上がりました。卓球バレーが地域交流の架け橋となるよう引き続き取り組んでいきたいと思います。
- なお、今回もサントリーホールディングス株式会社より入賞チームに賞品をご提供いただきました。また、毎回、本社CSR推進部長の坪松 博之様に遠路足をお運びいただき、表彰式では賞品贈呈時のプレゼンターを務めていただきました。震災後、10年以上経過しても変わらぬ温かなご支援に心より感謝を申し上げます！

## 岡崎建設 Owls バレーボール教室を開催！

- ◆期日：令和6年3月3日(日) ◆会場：ふれあいランド岩手(盛岡市)
- ◆レポート：岡崎建設 Owls は紫波町にある社会人のバレーボールクラブです。全国社会人大会でも優勝経験のある強豪チームであり、バレーボール活動を通じた社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。毎年、恒例となった岡崎建設 Owls のバレーボール教室は、県内で活動する選手たちにとって大きな楽しみとなっています。今回は紫波町オガールアリーナから会場をふれあいランド岩手に移して合同練習形式で実施しました。



## 田野畑村老人クラブ・軽スポーツ交流会

- ◆期日：令和6年3月7日（木）
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：岩手県老人クラブ連合会の佐々木さんからの依頼があり、田野畑村老人クラブの軽スポーツ交流会に参加しました。当協会は卓球バレーとポッチャの体験指導を担当しました。年齢的には大先輩の皆さんですが、明るくパワフルでとてもお元気な方々でした。卓球バレーはほぼ初めての経験のようですが、好プレー珍プレーの連続に多に盛り上がりました。また、ポッチャも同様に楽しんでいただきました。この他、スポーツ吹き矢も体験していただき、充実した時間となったようです。皆さんの明るい笑顔にこちらもパワーをもらいました。



## 希望郷いわて大会開催記念・ゲートボール交流大会を開催！

- ◆期日：令和6年3月12日（火）
- ◆会場：グリーンピア三陸みやこ（宮古市）
- ◆レポート：当協会では障がいのあるなしに配慮したルールで実施するゲートボールの競技性に注目しています。今後はインクルーシブスポーツの1つとして様々な地域において交流を図りたいと思います。さて、本大会9チームが参加して熱戦を繰り広げました。対戦は1チーム5試合行い、勝ち数、得失点等により順位を決定します。結果は90歳以上のおばあちゃん選手を擁する龍泉洞チーム（岩泉町）が全勝で見事優勝。第2位は湯ったり館（宮古市）が4勝1敗。第3位は同じく4勝1敗の得失点差により近揚会（宮古市）となりました。参加した皆さんには今回もたっぷりと試合を楽しんでいただきました！1日5試合は厳しいかもですね（笑）



## 第4回岩手県パラアーチェリー記録会&体験会を開催！

- ◆期日：令和6年3月24日（日）
- ◆会場：パラリーナ（盛岡市）
- ◆レポート：この記録会&体験会も4回目の開催となりました。午前中の記録会にはパラ選手3名と障がいのない選手11名の合計14名が参加しました。また体験会にはアーチェリー未経験の方が5名ほど参加しておりました。冬季間のアーチェリー事業は会場となったパラリーナを使用しています。岩手県アーチェリー協会では長年に渡り、障がいのある選手の支援を行って、大会ではカテゴリーを分けることなく、ごく自然体で競技を行っています。当協会としても今後も連携を図りながらアーチェリー競技の普及を通してインクルーシブなスポーツ参加の環境作りを進めていきたいと思ひます。



### 会員紹介

-Our Partners-



いつもあたたかいご支援をいただきありがとうございます！

（令和6年12月1日現在 敬称略・五十音順）

### 令和6年度寄付金申込一覧（個人・団体）

株式会社アースデザインコンサルタンツ／株式会社アウトレジャー／江刺開発振興株式会社／株式会社久慈設計／株式会社グリーンピア三陸みやこ／株式会社寿広／株式会社昭和建設／城下 道幸／清和建設株式会社／東北エンジニアリング株式会社／東北資材工業株式会社／東北ターボ工業株式会社／株式会社トヨクンクリース／株式会社中野製麺／株式会社中原商店／株式会社長谷川建設／株式会社平野組／宮城建設株式会社／盛岡ガス株式会社／障害者支援施設 緑生園

### 正会員一覧（団体）

岩手県車いすハンドボール協会／岩手県 ID バasketボール連盟／（一社）岩手県作業療法士会／（社福）岩手県視覚障害者福祉協会／（社福）岩手県社会福祉協議会／（社福）岩手県社会福祉事業団／（社福）岩手県身体障害者福祉協会／岩手県スポーツウエルネス吹矢協会／（NPO）岩手県精神保健福祉連合会／岩手県知的障がい者サッカー連盟／岩手県知的障害者ソフトボール協会いわてスマイリーズ／岩手県特別支援学校連絡協議会／岩手チェアスキークラブ／（株）オイラー／（一社）コ・イノベーション研究所／サークル「ゆうの会」／（社福）自立更生会／（社福）新生会／全国脊髄損傷者連合会岩手県支部／（社福）手をつなぐ／（株）トラスト保険／ドルフィンズ岩手／（株）畠山冷機工業所／山口北州印刷（株）／ラッセル岩手

### 正会員一覧（個人）

阿部 史憲／伊藤 昇／井上 勝巳／井上 君之／今宮 正彦／岩淵 典仁／上村 弥／及川 貞之／小江 巧／小野 幹雄／小原 敏弘／軽石 義則／菊池 幸子／小坂 亜純／佐々木 君夫／佐々木 茂／笹木 正／佐藤 勝士／佐藤 志学／佐藤 慎二／佐藤 隆秀／佐藤 佑哉／白藤 友一／菅原 幸二／高橋 修／中野 正紀／野辺地 省吉／平藤 淳／三浦 拓朗／民部田 誠／横沢 高德

### 賛助会員一覧（個人）

菅 里美／藤村 誠／堀川 裕二／白畑 由貴子／浅沼 秀夫／阿部 志郎／佐々木 満／村田 美幸／高橋 千恵子

賛助会員一覧 (団体)

アーク株式会社/株式会社アースデザインコンサルツ/株式会社アイエムアイ/株式会社アイシーエス/株式会社IBC岩手放送/株式会社アウトレジャー/株式会社青紀土木/いしどりや眼科/株式会社 一条工務店仙台/株式会社一般公害集配センター/株式会社岩清水園芸/(一社)岩手県医師会/(一社)岩手県建設業協会/岩手県産株式会社/岩手建設工業株式会社/岩手県都市ガス協会/岩手県南運輸株式会社/(公財)岩手県予防医学協会/(一社)岩手県理学療法士会/岩手スポーツ用品販売株式会社/いわて生活協同組合/(公財)岩手県対がん協会/岩手電工株式会社/岩手道路開発株式会社/岩手トヨペット株式会社/株式会社 岩手日報社/岩手運送株式会社/岩手リオン補聴器センター/岩手リハビリテーション学院/(公財)いわてリハビリテーションセンター/イワフジ工業株式会社/株式会社エスイーシー/株式会社エズリコ・エンジニアリング/株式会社エヌエスオカムラ/株式会社FPホームサービス/株式会社遠忠/桜心警備保障株式会社/大塚製薬株式会社/岡崎建設株式会社/有限会社小沢商会/株式会社小田島アクティ/株式会社カガヤ/兼田建設株式会社/鎌田水産株式会社/株式会社川徳/株式会社菅文/キオクシア岩手株式会社/株式会社菊地建設/株式会社キタカミデリカ/株式会社北日本銀行/北日本建機工業株式会社/株式会社久慈設計/工藤建設株式会社/グリーンピア三陸みやこ/栗原建設株式会社/小岩金網株式会社/株式会社公衆/株式会社小林精機/株式会社齊藤興業/株式会社佐賀組/株式会社佐武建設/株式会社佐藤興産/株式会社佐藤政行種苗/株式会社志百家/株式会社寿広/昭栄建設株式会社/白金運輸株式会社/有限会社新栄観光バス/株式会社新興製作所/株式会社スパット北上/住田フーズ株式会社/株式会社関建設/有限会社タイガースポーツ/太平洋セメント株式会社大船渡工場/丹内建設株式会社/株式会社丹野組/株式会社テラ/株式会社テレビ岩手/東北エンジニアリング株式会社/東北資材工業株式会社/東北住建株式会社/株式会社東北ターボ工業/東北電話株式会社/東里工業株式会社/DOWA 通運株式会社/株式会社都南建設/豊島建設株式会社/トヨタカローラ岩手株式会社/株式会社中野製麺/日興電気株式会社/株式会社日盛ハウジング/日本身体障害者団体連合会東北事業所/ネットトヨタ岩手株式会社/橋爪商事株式会社/株式会社長谷川建設/花巻市清掃株式会社/東野建設工業株式会社/株式会社ヒューマンライフ/ヒトヤ株式会社/株式会社平野組/府金製粉株式会社/株式会社藤沢体育堂/株式会社ベルジョイス/北良株式会社/株式会社マイヤ/株式会社マルノ/株式会社ミズサワセミコンダクタ/みちのくココ・コーラボトリング株式会社/株式会社三ツ星商会/南建設株式会社/宮城建設株式会社/三八五観光株式会社/名鉄観光サービス株式会社盛岡支店/株式会社明和土木/株式会社メグミ/株式会社メディカルサポート/盛岡商工会議所/盛岡ニッタン株式会社/医療法人友愛会 盛岡友愛病院/有限会社谷地林業/株式会社ヤマイチ/株式会社山下組/株式会社やよいディライト/株式会社ユニバース/株式会社 Yumeka/株式会社吉田測量設計/有限会社吉野電設/株式会社米澤商事/ライフセディア株式会社/リアス環境管理株式会社/株式会社リベスト/菱和建設株式会社/社会福祉法人岩手更生会緑生園/社会福祉法人若竹会

バナー広告掲載中!

賛助会員のバナー広告は無料で掲載しております。現在、以下 95 団体のバナー広告を掲載中。この他、掲載依頼がありましたら随時、当協会 HP にアップいたします。詳細につきましてはお問合せ下さい。
